

2 調査の実施及び処理

(1) 実施の時期及び処理

各校の合格者発表後、3月下旬から4月中旬までの間に、各校の実状に応じて適宜調査を実施した。なお、解答時間は50分とした。(問題用紙はA4判右綴じ、解答用紙はA4判1枚)

(2) 参加校及び生徒数

期限までに資料の提出があった129校(2学科以上ある参加校はそれぞれの学科を1校とした)の27,619名について諸調査統計の処理をした。内訳は表1のとおりである。

(表1)

課 程	全 日 制				定 時 制	全 体
	普通科	商業科系	家庭科系	その他		
学 校 数	96	6	8	19	0	129
生 徒 数	24,309	392	484	2,434	0	27,619

(3) 統計上の調査事項

参加各校には次の事項について回答を求めた。

ア 個人別得点分布

イ 各校10%の無作為の抽出による、各小問ごとの個人得点

注 「群別正答率比較表」(6ページ)のA・B・C群は、(3)イの「各校10%の無作為の抽出による、各小問ごとの個人得点」を基に、学校ごとのまとまりで最上位から300人程度をA群、平均点付近300人程度をB群、最下位300人程度をC群とし、調査対象としたものである。

(4) 小問別応答分析等(詳細分析は、8ページから24ページに掲載)

6校から提供された300名の答案を到達度による得点区分によって、a群=上位100人、b群=中位100人、c群=下位100人に分け、答案に直接当たって応答分析を行った。

なお、各群間の差がほぼ等間隔で付く場合は、〈a-b-c型〉、a群とb群、b群とc群との間隔の差が2:1程度以上で付く場合は、〈a-b c型〉、その逆の場合は、〈a b-c型〉、各群の間隔の差がほとんどない場合は、〈a b c型〉として分類してある。